

## 県内若手農業者グループなど



「株式会社農援団」を設立する亀田社長(右)とファーマーズ・フォレストの松本社長=16日午後、宇都宮市新里町

県内の若手農業生産者グループ「農援団」と「道の駅うつのみやろまんちっく村」などを運営する「ファームーズ・フォレスト」は18日、共同で「株式会社農援団」(宇都宮市新里町、亀田泰志社長)を設立する。同村を拠点に、生産者のネットワーク化、商品加工開発、ブランド化、販路支援など農業全般にわたるサポートで、担い手となる若手農業者を支援する。同社によると、道の駅と一緒にした農業者支援事業は、全国初の取り組みという。

旧「農援団」は、農業通などで強みを持つ。のほか、同村内の加工の新たなビジネスモデル確立を目指し、県内の若手農業生産者が2011年に設立した。課題だつた営業、販売、流農産物や加工品の販売に収穫された農産物

(石幡愛)

## 加工や販路で担い手支援

を、昼夜販売することも可能になるという。担い手支援のネットワーク化事業では、生産者だけでなく、中小企業診断士や税理士、弁護士、料理研究家などの専門家が、農業経営全般を支援する体制を整える。教育研修事業なども実施する予定。取締役の一人に名を連ねるファームーズ・フォレストの松本謙社長は、「地域活性化にもつながる農業を核とした新たなビジネスモデルとして、栃木から全国へ発信していくたい」と意欲をみせる。設立時は旧農援団のメンバーなど35人が生産者として参加。同村内のファームーズ・フォレストと同じフロアに事務所を置く。今後は県内の若手農業者にも広く事業への参加を呼び掛けていく予定で、亀田社長は「会社自体が仕組み、インフラになり、生産者が夢を実現できる場とした」と話している。

# 道の駅と連携会社設立